

## 令和5年度 深芝小学校「学校についてのアンケート（前期）」結果考察

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

深芝小学校では、「子供が主語の学校」を令和5年度のスローガンと設定し、グランドデザインにおいて、「運動が好きな児童」85%、「早寝早起き朝ごはん」95%、「治療勧告治療完了」50%、「体力テスト」県平均、「学校が楽しい」95%、「欠席1ケタの日」80日、「自分にはよいところがある」90%、「あいさつがすすんでできる」80%、「授業がよく分かる」95%、「自分の考えを交流できる」85%、「読書50冊」75%、「県学力診断テスト」県平均、という数値目標を設定し、日々の教育活動に取り組んでおります。

その達成状況や達成に向けた取組について保護者の方に「学校についてのアンケート」を実施させていただきました。先日、回答いただきました結果をまとめましたのでご覧ください。全体的な傾向を調べたところ、他項目と比べ低い内容項目が、《学校教育全般について》の3、4、《保護者の皆様自身へのアンケート》の9でした。特に上記内容項目においては、学校側で検討し、今後の改善策を提示しました。今後取り組んでいきますのでよろしくお願いいたします。

また、同様に主なご意見に対しては、職員全体で共通理解を図り、改善できる部分については、改善策を協議し、対応していきます。よろしくお願いいたします。

### 【学校教育活動全般について】

#### 3 学校の相談体制

子どもは先生に相談しやすいと言っている。

「そう思う・ややそう思う」と回答した割合は、保護者約75・8%、また、「あまりそう思わない・思わない」と回答した割合は、保護者約17・4%です。

深芝小学校では、月に1度「いじめアンケート」を、学期に1度「生活アンケート」を実施しています。気になる児童へは教師側から声をかけて教育相談を行っております。場合に応じて、担任以外の教師とも面談が可能となっております。また、2学期には定期教育相談も計画しています。さらに今年度は、7月からインターネットによる相談システムも開始いたしました。

お子様が気軽に相談できる環境をさらに整えていきたいと思っております。

#### 4 学校生活の協力・思いやり

子どもの学校生活（いじめ、不登校、問題行動への対応）に不安はない。

「そう思う・ややそう思う」と回答した割合は、保護者約72・0%、また、「あまりそう思わない・思わない」と回答した割合は、保護者約26・5%です。

深芝小学校では、前述の3で述べさせていただいたように各種アンケート結果から、気になる児童には教育相談を行い、困っていることや悩み等の聞き取りをし、解決に向けて対応しています。また、児童の些細な言動や行為の変化を見逃さないよう、多くの目で見えています。深芝小学校では、いじめは絶対に許さないという態度で教育を行っています。いじめの未然防止や早期解決に最優先で取り組んでいきます。ご家庭でもお子様のことでお気づきの点がございましたら、学校（担任）に気兼ねなくご連絡ください。

## 【保護者の皆様自身へのアンケート】

### 9 保護者の連携・協力

子どものため保護者相互の連絡を十分行っている。

令和4年度の結果「そう思う・ややそう思う」と回答した割合は、保護者約65.0%、また、「あまりそう思わない・思わない」と回答した割合は、保護者約31.0%でした。

令和5年度前期の結果「そう思う・ややそう思う」と回答した割合は、保護者約65.7%、また、「あまりそう思わない・思わない」と回答した割合は、保護者約31.4%と昨年度に引き続き低い内容項目となりました。

令和5年5月より、コロナウイルスも5類扱いとなり、少しずつ制約条件もなくなってきております。深芝小学校でも「できない」から「どうすればできるか」にシフトチェンジし、学校行事やPTA活動も少しずつ活動を再開してきております。保護者の方々にもぜひ学校へ足を運んでいただき子どものために保護者相互の連携を進めていただきたいと思います。

また、各学校行事において、保護者ボランティアを募りますので、ご協力をお願いいたします。

## 【自由記述欄について】

- Q. どんな給食をどのように食べているのか、保護者も一緒に体験できる行事があったらいいなと思います。
- A. 家庭教育学級やPTA保健厚生委員会を中心として、「給食の試食会」を計画しております。令和5年度は、11月9日(木)を予定しておりますので、ぜひご参加いただきたいと思います。
- Q. 学年全員への連絡事項や全学年での連絡事項はアプリでの連絡ツールで固定して欲しい。
- A. 学校としても、配付物は経費の節約のために電子化を進めております。連絡アプリ(tetoru)の登録率も95%以上となりました。学校でも全学年や学年全員への文書配付やアンケートはtetoruで行っていきたいと考えております。他の保護者の方々にも連絡等の確実な周知のためにも文書配付の電子化にご協力いただきたいと思います。
- Q. 視力や体力作りのために、外で活動する時間を増やして欲しい。
- A. 週に2回業間に時間を設けて、全校児童が一斉に走り体力作りに励む「業間運動」を行っています。また、水曜日には、清掃の時間をカットしロング昼休みを設定しています。10月からは、体育館に「的」、「バトンスロー」を設置し投力向上にも努めるなど深芝小学校児童の体力アップを目指していきたいと思います。
- Q. 下校のとき、突然走り出すなどハラハラする場面が多数ある。また、登校班で上級生が下級生をきちんと並ばせるときもあれば、そうではないときがある。また、高学年の児童が時間に来ないときがある。
- A. 登下校については、安全面の観点からも班長をはじめとする児童に対し、継続して指導をしていきます。また、教職員でも引き続き立哨指導を行っていきます。昨年度途中から地域や保護者の方に見守りの協力もいただいております。子供たちの安全のためにも学校、家庭、地域が連携し、みんなで子供たちを見守り、育てていきましょう。

Q. タブレットはコミュニケーションツールとして楽しそうに見ているのはいいですが、授業中に動画等を見てはいないか、動画にフィルタリングはされているのか不安に感じています。また使い方などについてもっと知れたらと思います。

A. 児童用のタブレットにはフィルタリングがかかっています。また、直接動画を見るアプリは入っていませんが、絶対に見られない仕様にはなっておりません。タブレットは、授業で活用するとき以外は鍵付きの保管庫に収納しております。授業時の置き方も統一で画面が同じ方向から確認できるようにスタンドで立てて置くように指示しています。子どもたちが文具として扱えるように指導をしていきます。

Q. 熱中症予防のため、水分補給の促しがあればよいと思います。どうしても自分から飲まない子供もいます。

A. 熱中症対策は、学校全体で共通理解のもと進めています。各学年学級でも水分補給の声かけを行っています。業間や昼休みなど校内放送を通して水分補給の呼びかけを行っています。10月に運動会が予定され、練習も始まっています。学校全体で水分補給等の熱中症対策を進めていきます。

Q. 夏休みの宿題の作文は1年生からは早くないですか。学校で教える機会を作って欲しい。

A. 読書感想文などの作文については、児童の発達段階を考慮し、募集要項に応じて提示しています。また、夏休みの課題は、選択制にしており、作文以外からも選択することができるようになっております。学校でも作文の書き方の指導は行っていきます。

Q. 名札や体操服の見えるところの記名も防犯の観点から見直して欲しい。他校では防犯考慮を行っています。

A. 昨年度のご意見を受けて、令和5年度より深芝小学校でも防犯のため名札を登下校時は、付けず学校で朝付けて、帰りは外すように統一しました。体操服の記名については、依然として体操服の落とし物が多いので完全に無くす方向とはいきませんが、検討していきます。

Q. プールの時に見学となった児童が教室で自習となっているときに先生がいないときがあり、遊んでいたら叱られたと聞いたのですが、実際の体制がどうだったのか知りたい。

A. プール学習が始まる前に全職員で協議しました。担任が見学者の人数を報告し、空きの教職員がついて自習させるような体制をとりました。メディアセンターに白テーブルを準備し、冷房の効いた場所で各自課題に取り組みました。

※ 保護者の皆様には、「学校アンケート」のご協力大変ありがとうございました。  
深芝小学校は地域とともに児童のために、よくしていきたいと考えていますので、今後ご協力のほどよろしく願いいたします。次回の保護者アンケートは12月に予定しております。